

令和6年度

宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査
全国体力・運動能力，運動習慣等調査

報告書

～子供たち一人一人の体力向上のために～



令和7年3月
宮城県教育委員会

はじめに

各市町村教育委員会並びに小・中・高等学校、特別支援学校の教職員の皆様には、学校やそれぞれの地域の特色を生かし、日頃から児童生徒の体力・運動能力向上に対して、様々な工夫改善に取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。

今年度を振り返ってみますと、夏にはパリオリンピックが開催され、本県出身である卓球の張本兄妹やスケートボードの赤間選手の活躍など、スポーツの話題に触れる機会が多く、子供たちにとっても、スポーツに対する興味・関心が高まる良い機会になったのではないかと思います。

さて、本県の体力・運動能力の実態把握は、昭和39年度から抽出により、データの分析を行っていましたが、平成18年度からは対象を全児童生徒に広げ、より正確な実態把握と分析を行い、報告書にとりまとめております。

本県の児童生徒の体力・運動能力の状況は、今年度、全国調査の対象となる小学校5年生、中学校2年生の男子で向上が見られてきました。しかし、一方で女子の改善は大きな課題であり、引き続き子供たちの健康を守り、育てていくためには、児童生徒が楽しいと感じる体育の授業を充実させてやる気を引き出すとともに、日常の運動機会の創出を図る学校の環境を整えること、さらに学校だけでなく家庭や地域への働き掛けなどを進めることが重要と考えております。

県教育委員会では、昨年度より体力・運動能力向上センターを立ち上げ対策を進めるとともに、関係機関等の皆様との連携を深め、各種研修会等の充実を図ってまいりますので、より一層の御協力をお願いいたします。

結びに、本調査の分析業務を担当していただきました宮城教育大学黒川修行教授をはじめ、関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、私たちの取組が、子供たちの将来の健康と豊かなスポーツライフにつながることを願い、挨拶とします。

令和7年3月

宮城県教育委員会
教育長 佐藤 靖彦

目 次

I 「令和6年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査」結果について

1	令和6年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査 平均値一覧	1
2	校種別の令和6年度と令和5年度との結果比較	2
3	校種別の令和6年度と平成30年度（コロナ禍前）との結果比較	3
4	課題となる種目の推移	4
5	中期経年比較（平成20年度～令和6年度）〔小5・中2・高2男女〕	7
6	まとめ	8
	【参考】令和6年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査実施要項	9
	【参考】令和7年度における男女別・年齢別の各種目標値の設定について	10

II 「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（宮城県分）」結果について

1	令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要	16
2	体力合計点の推移（宮城県全体）	17
3	体力合計点の推移（仙台市を除く）	18
4	種目別の状況（全国平均値との比較）	19
7	児童生徒質問紙調査の状況	21
8	学校による授業以外の取組状況・活動の内容	23

III 課題と取組

課題と取組	24
令和7年度に向けた取組について	25
令和7年度体力調査に向けた取組について	27
体力・運動能力調査結果の有効活用のために	29
保健統計調査、体力・運動能力調査結果一覧表について	31
体力・運動能力調査結果に係る個人表彰の実施について	32
体力づくり・健康づくりチラシ	33

IV 事例紹介

体力・運動能力向上、健康課題に向けた取組事例の紹介	37
小学校の取組事例	38
中学校の取組事例	45
特色ある取組事例	52
地域センター員の取組事例	54

V 参考資料

参考資料	55
------	----